

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん にほんふいるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	理事長 平井 俊邦		
制作団体所在地	〒 166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1	最寄り駅(バス停)	地下鉄新高円寺駅
電話番号	03-5378-6311		
ふりがな 公演団体名	にほんふいるはーもにーこうきょうがくだん 日本フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL	https://japanphil.or.jp
代表者職・氏名	理事長 平井 俊邦		
公演団体所在地	〒 166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1	最寄り駅(バス停)	地下鉄新高円寺駅
制作団体 設立年月	1956年 6月		
制作団体組織	役員 理事長:平井俊邦 副理事長:五味康昌 常務理事:中根幹太、後藤朋俊、福井英次 理事:石井啓一郎、遠藤滋、田村浩章、戸所邦弘、福本ともみ	団体構成員及び加入条件等 楽団員 81名 事務局員 40名 合計:121名	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者 を置く	本事業担当者名	高橋 勇人
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	浅見 浩司

<p>制作団体沿革</p>	<p>1956年6月創立、楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務め、斬新な演奏スタイルで当時の楽壇に新風を吹き込みました。2021年6月に創立65周年を迎えました。コロナ禍の影響下ですが、「芸術性」と「社会性」を兼ね備えた楽団として活動、東日本大震災の被災地への支援活動に対し、「後藤新平賞」を頂くなど高い評価を得ました。今後とも以下の三つの柱で活動を継続してまいります。</p> <p>I.オーケストラ・コンサート 新たに首席指揮者にカーチェン・ウォン氏、芸術顧問に広上淳一氏を迎え、東京・横浜での定期演奏会をはじめ、ホールと連携し安全対策を講じつつ、内容・運営ともに工夫を凝らしてまいります。</p> <p>II.エデュケーション・プログラム 「夏休みコンサート」:今年で48年目を迎えたコンサートは、7月～8月一都三県で16公演開催し、お陰様で全公演満席にて無事終了いたしました。更に、盛岡でも公演を行い、北上市の児童合唱、山田町の山田境田虎舞保存会との共演も実現しました。</p> <p>III.リージョナル・アクティビティ(地域活動) 1994年に友好提携を結んだ杉並区とは、四半世紀以上にわたりさまざまな事業を展開。九州公演は2年ぶりに7県10都市で、2週間に渡る演奏旅行が無事終了しました。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2021年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーケストラ公演＝0回(コロナ禍で中止あり) ●室内楽公演(主な編成＝弦楽四重奏・木管五重奏・金管五重奏) 杉並区小・中学校＝10回、さいたま市小・中学校＝15回 その他＝4回 ●ワークショップ＝15回 ●クリニック＝12回 		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2007年12月 山梨県立かえで支援学校(オケ公演)</p> <p>2008年1月 船橋市立船橋支援学校(オケ公演)</p> <p>2013年5月 さいたま市立さくら草特別支援学校(室内楽公演)</p> <p>2013年11月 栃木県栃木特別支援学校(オケ公演)</p> <p>2016年10月 東京都立青峰学園(オケ公演)</p> <p>2017年12月 東京都立城東特別支援学校(オケ公演)</p> <p>2018年11月 広島県立呉特別支援学校(オケ公演)</p> <p>2021年11月 白鷺特別支援学校(室内楽公演)</p> <p>2021年12月 水元小合学園(室内楽公演)</p> <p>2022年9月 宮城県立船岡支援学校 (室内楽公演)</p> <p>2022年9月 宮城県立角田支援学校 (室内楽公演)</p>		
<p>参考資料の有無</p>		<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	「様々なリズムを、身近な音楽で感じよう」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【小学校 プログラム】</p> <p>♪ピゼー:オペラ《カルメン》より「闘牛士の行進」(★冒頭のシンバルも勢いよく！華やかに演奏会へご案内します！)</p> <p>♪ハチャトゥリアン:《仮面舞踏会》より「ワルツ」(★ダンスをテーマにした管弦楽曲から3拍子の曲を！)</p> <p>木管→金管→打楽器→弦楽器 ★楽器紹介(一つ一つの楽器を、解説とパフォーマンスによってご紹介。)</p> <p>♪グリーグ:《ホルベルク》組曲より「前奏曲」</p> <p>♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番(★踊りをテーマにした管弦楽曲から2拍子の曲を！)</p> <p>♪ヴェルディ:オペラ「椿姫」第1幕より《乾杯の歌》(ソプラノ入り)(★ソプラノ歌手との共演でオペラの魅力に触れよう)</p> <p>♪モーツァルト:オペラ《フィガロの結婚》より「恋とはどんなものかしら？」(ソプラノ入り)</p> <p>♪J.シュトラウス2世:喜歌劇《こうもり》より「侯爵様、あなたのようなお方は」(ソプラノ入り)</p> <p>♪ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》より「第1楽章」(★最後は、オーケストラ不朽の名曲を！)</p> <p>♪「ピリウ」 「さんぽ」等(会場合唱)</p> <p>♪学校校歌(会場合唱)</p> <p>(アンコール)J.シュトラウス I 世:ラデツキー行進曲 公演時間(70分)</p>			
	公演時間 70 分			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	別紙参照			
演目選択理由	<p>改正学習指導要綱の小学校音楽科の改訂の基本的な考え方は以下で、それを踏まえて選曲いたしました。</p> <p>・音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識を深める学習の充実を図る。</p> <p>クラシック音楽の3大要素「メロディ・リズム・ハーモニー」のうち、特にリズムは作曲された国ならではの生活様式から生まれたもので、しかも国や地域を超える親和性があり、象徴的なのは「踊りの音楽」です。それを中心に2拍子の「ハンガリー舞曲」や「闘牛士の行進」、3拍子の「仮面舞踏会のワルツ」、そして4拍子の「ホルベルク組曲＝前奏曲」などでその違いから、それぞれの音楽の成り立ちにまで想像力を働かせて頂ければ幸いです。中盤にはソプラノ歌手が登場し、圧倒的な声量で児童・生徒さんを魅了します。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>①学校の希望に合わせ、オーケストラの伴奏で、校歌とその他一曲を歌っていただきます。特にソプラノ歌手による歌唱法のワンポイント・レクチャーを行うのが日本フィルの学校巡回公演の最大の特徴で、児童・生徒の歌声に「短時間で見(聴き)違えるほど張りが出た」と、先生方も驚くような効果が期待できます。</p> <p>②中学校では、指揮者体験コーナーを設けます。時間的な制約もあり、体験できる人数は最大3名ですが、指揮者が変われば音楽はどう変わるのか、テンポが変われば曲に対する印象は、どう変わるか。生徒が理解できるようになります。</p> <p>③希望される学校には、小学校の指揮者体験、吹奏楽部との合同演奏など、各学校に合った共演形態をご提案します。</p>			
出演者	<p>指揮:松井 慶太(日程により 他1名)</p> <p>ナレーション・ソプラノ(中学校):坂井田真実子「二期会21」所属(日程により 他1名)</p> <p>管弦楽:日本フィルハーモニー交響楽団 2管 12型</p> <p>※編成は原則。会場条件等により変更する可能性があります</p> <p>*共演者については、エデュケーション・プログラムに豊富な実績をもつ日本フィルが演目内容によって、コーディネイトいたします。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 66 名	運搬	積載量: 4 t	
	スタッフ: 9 名		車長: 8 m	
	合計: 75 名		台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時		13時30分	無し	15時	16時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	4日	0日	0日	3日	0日	
	11月	12月	1月	計	14日	
	7日	0日	0日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	3人
		鑑賞人数目安	600人

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100人～300人
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>◆事前ワークショップ 【音楽室探検ワークショップ】</p> <p>オーケストラの打楽器奏者と一緒に学校の音楽室にある楽器の魅力を発見します。タンバリンや小太鼓や木琴等、児童が普段手にしている楽器を中心に取り上げますので、親近感を感じそれが興味を持つきっかけになります。</p> <p>②音楽室には普段の器楽合奏にはあまり使用しない、ボンゴやギロ等のラテン楽器もあります。これらの珍しい音色とその正しい奏法も、感じて頂きます。</p> <p>③編成は、ヴァイオリン1人と打楽器奏者1人の2名で実施します。ヴァイオリンが、みなさんのよく知っている「キラキラ星」のメロディを、様々なテンポと表情で次々と変奏し、それに対しメロディに相応しい打楽器と奏法で伴奏します。</p> <p>④ヴァイオリンの楽器紹介では、ヴァイオリンと弓の構造や音の出るしくみをソロ演奏とともにわかりやすく解説します。</p> <p>⑤打楽器の楽器紹介では、マリンバ・小太鼓・タンバリン・カスタネット等、学校の音楽室にある打楽器を利用して、一般的な奏法から、プロならではの特殊奏法を解説しながらソロ演奏し、大きな拍手を頂く場面です。</p> <p>⑥ヴァイオリンとマリンバの合奏で、「●2人ともメロディでの輪唱●メロディと伴奏」という形態の違いを、クイズ形式で答えていただき、楽曲の仕組みを発見していただきます。</p> <p>⑦全員参加で、手拍子によるリズム体験をします。低学年でも理解できるシンプルなりズムパターンを提示し、別のグループにはそのリズムパターンに1拍を追加します。2グループが同時進行するミニマル・ミュージックの手法により、不思議な音楽空間が生まれます。</p> <p>⑧楽員2人による、スティーブ・ライヒ:「クラッピング・ミュージック」 *⑤の手拍子による音楽の発展形を皆さんに理解していただきます。</p> <p>⑨近年、学校の予算の関係と思われるが、小学校に金管バンドがあったり中学校に吹奏楽部があると、普段から楽器を使用しメンテナンスも行き届いていますが、それ意外の学校では予算配分の関係で、修理がされていない楽器も散見されます。日本フィルのワークショップには打楽器のメンテナンスの指導が盛り込まれて、「楽器を大切に扱う」ことも学んで頂きます。</p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>①ヴァイオリンがメロディを担当し、打楽器がリズムとハーモニー(マリンバ使用)を担当とい2人の最小単位だからこそ際立つ、音楽の構成をシンプルに理解していただけます。</p> <p>②様々な打楽器によるリズムの実演によって、2拍子や3拍子や4拍子等、リズムに対する感性が磨かれます。そしてオーケストラ公演のテーマである「様々なリズムを、踊りの音楽で感じよう」につながり、更には合奏の形態の違いを、オーケストラ演奏の中で発見することが出来ます。</p> <p>③いつも音楽の授業で触っている小太鼓、タンバリン一つでも、プロの演奏家がさまざまな奏法で鳴らすと、いままで知らなかった不思議な音がします。学校にある楽器の音を、プロの打楽器奏者の妙技で発見し、実演と共に更に深く音楽への興味を持って頂きます。</p> <p>④手拍子のワークショップは、全員でテンポを揃えなければ効果がありません。互いのリズムを聴き合おうとする姿勢によって、コミュニケーション能力向上がかなりの確率で見込めます。</p> <p>⑤身近な音楽室の楽器そしてオーケストラへ。音楽への興味を自然に引き出すワークショップです。</p> <p>⑥ベートーヴェンの「運命」の動機もミニマル・ミュージックと説明し、本公演への興味へと繋がります。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>			

リンク先	No.2	【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団】
本公演演目(中学校プログラム)	<p>【中学校 プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》より「第1楽章」(★名曲中の名曲で、コンサートに誘います) ♪ハチャトゥリアン:《仮面舞踏会》より「ワルツ」(★ダンスをテーマにした管弦楽曲から3拍子の曲を！) ♪ヴェルディ:オペラ「椿姫」第1幕より《乾杯の歌》(ソプラノ入り)(★ソプラノ歌手との共演でオペラの魅力に触れよう) ♪マスカーニ:オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲(「アヴェ・マリア」)(ソプラノ入り) ♪J.シュトラウス2世:喜歌劇《こもり》より「侯爵様、あなたのようなお方は」(ソプラノ入り) ♪カジノユキ編:オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」★楽器紹介のために編曲された曲で音色の違いを理解しよう <p>【指揮者体験】*生徒3人 (★プロの指導の下で、指揮者になってみよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番(最終部分) ♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 *指揮者にて通し演奏 ♪ドヴォルザーク:《交響曲第8番》より「第4楽章」(★最後は、親しみ易い旋律で「これぞオーケストラだ!」という1曲を) <p>「校歌」もしくは「ビリーブ」(会場合唱) (アンコール) J.シュトラウス I 世:ラデツキー行進曲 公演時間(80分)</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団 】
演目概要	<p>♪ビゼー:オペラ「カルメン」より《闘牛士の行進》(小学校のみ) フランスの作曲家ビゼー(1838-1875)の書いたオペラ《カルメン》は、とても情熱的な女の人(カルメン)の物語です。「闘牛士の行進」は第一幕の幕開けに演奏される曲で、「さあ、今から始まりますよ!」とお客さまをワクワクさせる、リズムカルな楽しい曲です。</p> <p>♪ハチャトゥリアン:《仮面舞踏会》より「ワルツ」 作曲家自身最も心をくわいて取り組んだ楽曲で、舞踏会を彷彿とさせます。憂愁をおびた旋律がファゴットとヴィオラで歌い込まれ、ヴァイオリンがワルツ主題を奏します。中間部は弦による主題が木管の華やかな装飾で彩られ、最後は主題ワルツに戻りめくるめくような音楽が展開、近年ではフィギュアスケートの音楽として大変有名になりました。</p> <p>♪グリーグ:「ホルベルク」組曲より《前奏曲》 ノルウェーの作曲家エドヴァルド・グリーグが作曲した弦楽合奏曲。原曲は1884年に書かれたピアノ独奏曲ですが、今日ではもっぱらグリーグ自身が1885年に編曲した弦楽合奏版で知られています。「ホルベルク」(ホルベア)とは「ノルウェー文学の父」と呼ばれるノルウェーを代表する作家のことで、グリーグが40歳の頃に、その生誕200年祭のための音楽を依頼されてこの作品を作曲しました。ホルベアが生きた時代に主流だったバロック音楽を用い、《前奏曲》はつらつとした盛り上がりの中に富んでいます。</p> <p>♪ヴェルディ:歌劇「椿姫」第1幕より《乾杯の歌》(ソプラノ入り) ヴェルディは19世紀を代表するイタリアのオペラ作曲家。オペラ「椿姫」はヴェルディの代表作とされるだけでなく、世界のオペラ劇場の中でも最も上演回数が多い作品の一つに数えられています。「乾杯の歌」は第1幕に歌われるアリアで、主人公の男女がパーティで初めて出会う場面の歌です。</p> <p>♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 ハンガリー舞曲とは、ブラームスがハンガリーのロマ(ジプシー)音楽を元に編曲した楽曲で、元は4手ピアノ(連弾)用として作られました。のちに管弦楽版に再編曲されています。第5番が一番有名で、舞曲ならではのリズム変化が特徴です。</p> <p>♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より《第1楽章》 冒頭の「ダダダーン」で有名な交響曲第5番は、日本では「運命」の名で親しまれており、まさにクラシック音楽の代名詞と言っても過言ではありません。ベートーヴェンはこの曲を作曲した当時は難聴でほとんど耳が聞こえないという絶望的な状態でした。冒頭の旋律の意味を弟子に尋ねられて、彼は「運命の扉をたたいた音」だ。と言った逸話は有名です。その難聴を乗り越えて作曲し、第1楽章の苦しみを乗り越えて第4楽章へと繋がってゆくという構成になっており、その「第1楽章」を聴いていただきます。</p> <p>♪ドヴォルザーク:交響曲第8番より《第4楽章》(中学校のみ) チェコの作曲家ドヴォルザークが作曲した交響曲で、第9番「新世界より」に次いで人気のある曲です。アメリカ滞在中に聞いた音楽から影響を受けた「新世界より」には無い、ボヘミアの自然や「民衆の声」といった民族的な旋律で鮮やかに彩られた作品で、特に第4楽章の第1主題(ボヘミアの民族舞踊)や中間部の原始的な響きの和音・リズムなど、ドヴォルザークらしさが随所に散りばめられています。</p>	

松井 慶太 ほか	指揮者
田野倉 雅秋	コンサートマスター
坂井田 真実子	ソプラノ
九鬼 明子	1st Violin
斎藤 千種	1st Violin
齋藤 政和	1st Violin
太田 麻衣	1st Violin
田村 昭博	1st Violin
神 渚	1st Violin
中谷 郁子	1st Violin
西村 優子	1st Violin
平井 幸子	1st Violin
本田 純一	1st Violin
岡田 紗弓	1st Violin
遠藤 直子	2nd Violin
大貫 聖子	2nd Violin
加藤 祐一	2nd Violin
神尾 あずさ	2nd Violin
川口 貴	2nd Violin
佐藤 駿一郎	2nd Violin
竹歳 夏鈴	2nd Violin
豊田 早織	2nd Violin
山田 千秋	2nd Violin
太田 麻衣	2nd Violin
小中澤 基道	Viola
小俣 由佳	Viola
松澤 稚奈	Viola
高橋 智史	Viola
デヴィッド・メイソン	Viola
中川 裕美子	Viola
中溝 とも子	Viola
児仁井 かおり	Viola
江原 望	Cello
大澤 哲弥	Cello
久保 公人	Cello
石崎 美雨	Cello
山田 智樹	Cello

39	山口 雅之	Contrabass
40	鈴木 優介	Contrabass
41	高山 智仁	Contrabass
42	成澤 美紀	Contrabass
43	真鍋 恵子	Flute
44	難波 薫	Flute(Piccolo)
45	松岡 裕雅	Oboe
46	佐竹 真登	Oboe
47	伊藤 寛隆	Clarinet
48	楠木 慶	Clarinet
49	鈴木 一志	Fagotto
50	田吉 佑久子	Fagotto
51	伊藤 恒男	Horn
52	宇田 紀夫	Horn
53	信末 碩才	Horn
54	原川 翔太郎	Horn
55	星野 究	Trumpet
56	中里 州宏	Trumpet
57	岸良 開城	Trombone
58	伊波 睦	Trombone
59	中根 幹太	Bass Trombone
60	柳生 和大	Tuba
61	松井 久子	Harp
62	遠藤 功	Percussion
63	福島 喜裕	Percussion
64	エリック・パケラ	Percussion
65	大河原 渉	Percussion
66	フリー	Percussion
67	阿部 紋子	Stage
68	森田 大翔	Stage
69	フリー	Stage
70	フリー	Stage
71	フリー	Stage
72	フリー	Stage
73	フリー	音響担当
74	高橋 勇人	Office
75	杉本 哲也	Office